殺虫剤
MEP乳剤

サンケイ スミチオン®乳剤

農林水産省登録　第5052号
性状：黄褐色可乳化油状液体
毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称）
危険物：第四類第二石油類
有効年限：4年
包装：500mℓ×20

有効成分：MEP（化管法第1種）・・・・・50.0%

殺虫剤分類　１Ｂ

スミチオン®は住友化学(株)の登録商標です。

特長
○有機リン系殺虫剤です。
○作用機作はコリンエステラーゼの活性を阻害し、殺虫作用を示します。
○植物に浸達性があります。
○無人航空機による散布に使用できます。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MEPを含む農薬の総使用回数
稲	ニカメイチュウ第1世代 イネハモグリバエ	1000～2000倍	60～150ℓ/10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	3回以内（種もみへの処理は1回以内、育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内）
	ニカメイチュウ第2世代 サンカメイチュウ第3世代	800～1000倍					
	ウンカ類 カメムシ類 イネツトムシ イネシンガレセンチュウ イネドロオイムシ アブラムシ類 アワヨトウ	1000倍					
	イネヒメハモグリバエ	2500倍					
	フタオビコヤガ	2000～4000倍					
	イネシンガレセンチュウ	1000倍	ー	は種前	1回	6～72時間浸漬	
		100倍				専用の種子消毒機を用いて乾燥種籾重量の3%の量の希釈液を種籾に吹付け処理又は塗沫処理	
	ニカメイチュウ ヒメトビウンカ カメムシ類 イネハモグリバエ イネヒメハモグリバエ フタオビコヤガ イネツトムシ	30倍	3ℓ/10a	収穫21日前まで	2回以内	空中散布	
	ニカメイチュウ カメムシ類	8倍	800mℓ/10a			無人航空機による散布	
		300倍	25ℓ/10a			散布	
稲(箱育苗)	イネシンガレセンチュウ	1000倍	育苗箱（60×30×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当り500mℓ	硬化期～移植前日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	3回以内（種もみへの処理は1回以内、育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MEPを含む農薬の総使用回数
麦類（大麦、小麦を除く）	アブラムシ類 アワヨトウ ムギキモグリバエ	1000倍	60～150ℓ/10a	収穫14日前まで	1回	散布	1回
	ムギアカタマバエ ヒメトビウンカ	30倍	3ℓ/10a			空中散布	
	ヒメトビウンカ	8倍	800mℓ/10a				
	アブラムシ類					無人航空機による散布	
大麦	アブラムシ類 アワヨトウ ムギキモグリバエ	1000倍	60～150ℓ/10a	収穫7日前まで	1回	散布	1回
	ムギアカタマバエ ヒメトビウンカ	30倍	3ℓ/10a			空中散布	
	ヒメトビウンカ	8倍	800mℓ/10a				
	アブラムシ類					無人航空機による散布	
小麦	アブラムシ類	250倍	25ℓ/10a	収穫7日前まで	1回	散布	1回
	アブラムシ類 アワヨトウ ムギキモグリバエ	1000倍	60～150ℓ/10a				
	ムギアカタマバエ ヒメトビウンカ	30倍	3ℓ/10a			空中散布	
	ヒメトビウンカ	8倍	800mℓ/10a				
	アブラムシ類					無人航空機による散布	
とうもろこし	アワノメイガ カメムシ類 ツマジロクサヨトウ	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	4回以内
りんご	アブラムシ類	1000～2000倍	200～700ℓ/10a	収穫30日前まで	3回以内	散布	3回以内
	シンクイムシ類 ハマキムシ類 ナシグンバイ ケムシ類	1000倍					
	カイガラムシ類	1000～1500倍					
なし（有袋栽培）	アブラムシ類	1000～2000倍	200～700ℓ/10a	収穫14日前まで	6回以内	散布	6回以内
	シンクイムシ類 ハマキムシ類 ナシグンバイ ナシホソガ ナシチビガ カメムシ類 ケムシ類	1000倍					
	カイガラムシ類	1000～1500倍					
なし（無袋栽培）	アブラムシ類	1000～2000倍	200～700ℓ/10a	収穫21日前まで	6回以内	散布	6回以内
	シンクイムシ類 ハマキムシ類 ナシグンバイ ナシホソガ ナシチビガ カメムシ類 ケムシ類	1000倍					
	カイガラムシ類	1000～1500倍					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MEPを含む農薬の総使用回数
かき	イラガ類 カイガラムシ類 カメムシ類 ハマキムシ類 ケムシ類 カキノヘタムシガ カキホソガ ミノガ類若齢幼虫	1000倍	200～700ℓ/10a	収穫30日前まで	3回以内	散布	3回以内 （樹幹処理は2回以内）
もも	アブラムシ類 モモハモグリガ ナシヒメシンクイ （心折防止）	1000～2000倍	200～700ℓ/10a	収穫3日前まで	6回以内	散布	6回以内 （樹幹処理は1回以内）
	シンクイムシ類 ハマキムシ類 カメムシ類	1000倍					
	クビアカツヤカミキリ			成虫発生初期 但し、 収穫3日前まで			
	カイガラムシ類	1000～1500倍		収穫3日前まで			
みかん	アブラムシ類	1000～2000倍	200～700ℓ/10a	収穫14日前まで	5回以内	散布	5回以内 （樹幹処理は1回以内）
	アザミウマ類 カイガラムシ類 カメムシ類 ケシキスイ類 ハマキムシ類 カネタタキ コアオハナムグリ フラーバラゾウムシ ミカンキジラミ ミカンツボミタマバエ	1000倍					
	ケシキスイ類 コアオハナムグリ アザミウマ類	10倍	5ℓ/10a			無人航空機による散布	
かんきつ（みかんを除く）	アブラムシ類	1000～2000倍	200～700ℓ/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内 （樹幹処理は1回以内）
	アザミウマ類 カイガラムシ類 カメムシ類 ケシキスイ類 ハマキムシ類 カネタタキ コアオハナムグリ フラーバラゾウムシ ミカンキジラミ ミカンツボミタマバエ	1000倍					
大粒種ぶどう	アブラムシ類 フタテンヒメヨコバイ ブドウスカシバ ブドウトリバ	1000～2000倍	200～700ℓ/10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	4回以内 （収穫終了後から萌芽までは2回以内、萌芽後は2回以内）
	ハマキムシ類 ブドウトラカミキリ キンケクチブトゾウムシ成虫	1000倍					
	カイガラムシ類	1000～1500倍					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MEPを含む農薬の総使用回数
小粒種ぶどう	アブラムシ類 フタテンヒメヨコバイ ブドウスカシバ ブドウトリバ	1000～2000倍	200～700ℓ/10a	収穫90日前まで	2回以内	散布	4回以内 （収穫終了後から萌芽までは2回以内、萌芽後は2回以内）
	ハマキムシ類 ブドウトラカミキリ キンケクチブトゾウムシ成虫	1000倍					
	カイガラムシ類	1000～1500倍					
おうとう	アブラムシ類	1000～2000倍	200～700ℓ/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内 （樹幹処理及び灌注処理は合計1回以内）
	ハマキムシ類 ナシグンバイ ケムシ類	1000倍					
うめ	アブラムシ類	1000～2000倍	200～700ℓ/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
	ケムシ類 ハマキムシ類	1000倍					
	クビアカツヤカミキリ			成虫発生初期 但し、 収穫14日前まで			
オリーブ	オリーブアナアキゾウムシ	50倍	0.3～3ℓ/樹	収穫21日前まで	3回以内	樹幹散布	3回以内
オリーブ(葉)	オリーブアナアキゾウムシ	50倍	0.3～3ℓ/樹	収穫120日前まで	3回以内	樹幹散布	3回以内
いちょう(種子)	コウモリガ ヒメボクトウ	100倍	0.3～3ℓ/樹	収穫60日前まで	3回以内	樹幹散布	3回以内
くり	モモノゴマダラノメイガ	8倍	3ℓ/10a	収穫14日前まで	4回以内	空中散布	4回以内 （樹幹処理は1回以内）
いちご	アブラムシ類	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
ほうれんそう	アブラムシ類 ケナガコナダニ類	1000～2000倍	100～300ℓ/10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	2回以内
てんさい	テンサイトビハムシ	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
にら	ネダニ類	1000倍	3ℓ/㎡	収穫14日前まで	1回	株元灌注	1回
ねぎ	アブラムシ類	700～2000倍	100～300ℓ/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
	アザミウマ類 ネギコガ	700～1000倍					
ごぼう	アブラムシ類 フキノメイガ	1000～2000倍	100～300ℓ/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
たまねぎ	アブラムシ類	700～2000倍	100～300ℓ/10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	2回以内
	アザミウマ類	700～1000倍					
トマト	アブラムシ類 オオニジュウヤホシテントウ トマトキバガ	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
なす	アブラムシ類 テントウムシダマシ類 クロテンコナカイガラムシ	1000～2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	5回以内	散布	5回以内
きゅうり メロン しろうり	アブラムシ類	1000～2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	5回以内	散布	5回以内
	アザミウマ類	1000倍					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MEPを含む農薬の総使用回数
すいか	アブラムシ類	700～2000倍	100～300ℓ/10a	収穫3日前まで	6回以内	散布	6回以内
	アザミウマ類	700～1000倍					
かぼちゃ	アブラムシ類	700～2000倍	100～300ℓ/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
	アザミウマ類	700～1000倍					
だいず	マメシンクイガ ダイズサヤタマバエ シロイチモジマダラメイガ マメヒメサヤムシガ カメムシ類	20倍	3ℓ/10a	収穫21日前まで	4回以内	空中散布	4回以内
	ダイズサヤタマバエ シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤムシガ カメムシ類 ウコンノメイガ マメシンクイガ	8倍	800mℓ/10a			無人航空機による散布	
	シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 マメヒメサヤムシガ ウコンノメイガ マメハンミョウ	1000倍	100～300ℓ/10a			散布	
	アブラムシ類	1000～2000倍					
	マメシンクイガ	1000～1500倍					
豆類 （種実、ただし、だいず、あずき、いんげんまめ、そらまめを除く）	シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 マメヒメサヤムシガ	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫21日前まで	4回以内	散布	4回以内
	アブラムシ類	1000～2000倍					
	マメシンクイガ	1000～1500倍					
未成熟 そらまめ	シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 マメヒメサヤムシガ	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
	アブラムシ類	1000～2000倍					
	マメシンクイガ	1000～1500倍					
豆類 （未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげん、未成熟そらまめを除く）	シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 マメヒメサヤムシガ	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫21日前まで	4回以内	散布	4回以内
	アブラムシ類	1000～2000倍					
	マメシンクイガ	1000～1500倍					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MEPを含む農薬の総使用回数
えだまめ	シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 マメヒメサヤムシガ ウコンノメイガ	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫21日前まで	4回以内	散布	4回以内
	アブラムシ類	1000～2000倍					
	マメシンクイガ	1000～1500倍					
いんげんまめ	カメムシ類 インゲンテントウ インゲンマメゾウムシ シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ マメヒメサヤムシガ	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫21日前まで	4回以内	散布	4回以内
	アブラムシ類	1000～2000倍					
	マメシンクイガ	1000～1500倍					
さやいんげん	シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 マメヒメサヤムシガ インゲンテントウ	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫21日前まで	4 回以内	散布	4回以内
	アブラムシ類	1000～2000倍					
	マメシンクイガ	1000～1500倍					
あずき	アズキノメイガ シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ ナミハダニ カメムシ類 マメヒメサヤムシガ マメホソクチゾウムシ	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫21日前まで	4回以内	散布	4回以内
	アブラムシ類	250倍	25ℓ/10a				
		1000～2000倍	100～300ℓ/10a				
	マメシンクイガ	1000～1500倍					
そらまめ	アブラムシ類	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
ばれいしょ	アブラムシ類	250倍	25ℓ/10a	収穫3日前まで	6回以内	散布	6回以内
	アブラムシ類 テントウムシダマシ類	1000倍	100～300ℓ/10a				
こんにゃく	アブラムシ類	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
かんしょ	イモコガ アブラムシ類 ムツスジアシナガゾウムシ ヨツモンカメノコハムシ	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫7日前まで	5回以内	散布	5回以内
うど	アブラムシ類 センノカミキリ ヒメシロコブゾウムシ ウドノメイガ ヨトウムシ	1000倍	100～300ℓ/10a	根株養成期 但し収穫 150日前 まで	4回以内	散布	4回以内
モロヘイヤ	マメコガネ アザミウマ類 アブラムシ類 カメムシ類	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
わらび	ナガゼンマイハバチ	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫90日前まで	2回以内	散布	2回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MEPを含む農薬の総使用回数
らっきょう	ネダニ類	1000～2000倍	ー	植付前	1回	30分間種球浸漬	3回以内（植付前は1回以内、植付後は2回以内）
	アザミウマ類	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	
		8倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布	
	ネギハモグリバエ						
せり	アブラムシ類	2000倍	100～300ℓ/10a	親株養成期 但し収穫45日前まで	2回以内	散布	2回以内
さとうきび	カンシャコバネナガカメムシ メイチュウ類 カンシャワタアブラムシ イナゴ類	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫45日前まで	4回以内	散布	4回以内
	カンシャコバネナガカメムシ	25倍	6ℓ/10a			空中散布	
	イナゴ類					無人航空機による散布	
たらのき	センノカミキリ幼虫 ヒメシロコブゾウムシ	100倍	150～300ℓ/10a	3～5月 株養成期	2回以内	樹幹散布	2回以内
茶	ミノガ類 コカクモンハマキ チャノホソガ ルビーロウムシ	700～1000倍	200～400ℓ/10a	摘採21日前まで	1回	散布	1回
まめ科牧草	ヨコバイ類 アブラムシ類 ウンカ類 ウリハムシモドキ ゾウムシ類	1000～2000倍	100～300ℓ/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
	ムギダニ	1000倍					
いね科牧草	ヨコバイ類 アブラムシ類 ウンカ類 ウリハムシモドキ ゾウムシ類	1000～2000倍	100～300ℓ/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
	ムギダニ アワヨトウ	1000倍					
飼料用とうもろこし	アブラムシ類	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫30日前まで	2回以内	散布	2回以内
セネガ	アブラムシ類	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
花き類･観葉植物	アオムシ バッタ類 ハマキムシ類 アザミウマ類	1000倍	100～300ℓ/10a	ー	6回以内	散布	6回以内
ばら	アブラムシ類	1000～2000倍	100～300ℓ/10a	ー	6回以内	散布	6回以内
	フラーバラゾウムシ	1000倍					
きく	アブラムシ類	1000～2000倍	100～300ℓ/10a	ー	6回以内	散布	6回以内
	フラーバラゾウムシ カメムシ類 ヨトウムシ類	1000倍					
カーネーション	アザミウマ類 クロウリハムシ	1000倍	100～300ℓ/10a	ー	6回以内	散布	6回以内
宿根かすみそう	ハモグリバエ類	1000倍	100～300ℓ/10a	ー	6回以内	散布	6回以内
りんどう	ヒラズハナアザミウマ	1000倍	100～300ℓ/10a	発生初期	6回以内	散布	6回以内
アスター	ウリハムシ	1000倍	100～300ℓ/10a	ー	6回以内	散布	6回以内
ソリダゴ	カメムシ類	1000倍	100～300ℓ/10a	ー	6回以内	散布	6回以内
スターチス	コガネムシ類	1000倍	100～300ℓ/10a	ー	6回以内	散布	6回以内
シネラリア	シンクイムシ類	1000倍	100～300ℓ/10a	ー	6回以内	散布	6回以内
斑入りアマドコロ	コウモリガ	1000倍	100～300ℓ/10a	ー	6回以内	散布	6回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MEPを含む農薬の総使用回数
ききょう	ヨトウムシ	1000倍	100～300ℓ/10a	ー	6回以内	散布	6回以内
樹木類	アブラムシ類 グンバイムシ類 ケムシ類 フラーバラゾウムシ	500～1000倍	200～700ℓ/10a	ー	6回以内	散布	6回以内
	オオハリセンチュウ	500倍	ー	移植前	1回	30分間 根部浸漬	
つつじ類	グンバイムシ類 ハマキムシ類	1000倍	200～700ℓ/10a	ー	6回以内	散布	6回以内
せんりょう	アザミウマ類 カメムシ類	1000倍	200～700ℓ/10a	ー	6回以内	散布	6回以内
こでまり	カイガラムシ類	1000倍	200～700ℓ/10a	ー	6回以内	散布	6回以内
しきみ	クスアナアキゾウムシ	1000倍	200～700ℓ/10a	ー	6回以内	散布	6回以内
にしきぎ	ケムシ類	1000倍	200～700ℓ/10a	ー	6回以内	散布	6回以内
しゃりんばい だいおうしょう	シンクイムシ類	1000倍	200～700ℓ/10a	ー	6回以内	散布	6回以内
さかき	ハマキムシ類 サカキブチヒメヨコバイ	1000倍	200～700ℓ/10a	ー	6回以内	散布	6回以内
さくら	クビアカツヤカミキリ	1000倍	200～700ℓ/10a	成虫発生初期	6回以内	散布	6回以内
さんごじゅ	ワタノメイガ	1000倍	200～700ℓ/10a	ー	6回以内	散布	6回以内
げっきつ	ミカンキジラミ	1000倍	200～700ℓ/10a	ー	6回以内	散布	6回以内
たばこ	ヨトウムシ	1000倍	25～180ℓ/10a	収穫20日前まで	1回	散布	1回
しちとうい	イネクロカメムシ	1000倍	60～150ℓ/10a	発生初期	2回以内	散布	2回以内
芝	シバツトガ スジキリヨトウ	1000倍	0.3～2ℓ/㎡	発生初期	6回以内	散布	6回以内
	コガネムシ類幼虫		3ℓ/㎡				
	シバオサゾウムシ			幼虫発生期			
桑	クワゾウムシ成虫	500～750倍	100～300ℓ/10a	成虫発生期	6回以内	散布	6回以内

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	本剤の使用回数	使用方法	MEPを含む農薬の総使用回数
水田作物、畑作物(休耕田)	ヨシ、オギ、ススキ、セイタカアワダチソウ等の多年生雑草が優占している休耕田	カメムシ類	1000倍	60～150ℓ/10a	4回以内	散布	4回以内

使用上の注意事項

●使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
●アルカリ性の強い薬剤との混用はさけてください。
　但しボルドー液との混用は散布直前に行い、出来るだけ早く使用してください。
●あぶらな科作物には薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布してください。
●桃の初期散布（5～6月）には、薬害のでることがあるので注意してください。
●梨の早生赤種、りんごの旭種及びその近縁種には薬害のでることがあるので使用はさけてください。
●宿根かすみそうに使用する場合、開花期には薬害を生じることがあるので、この時期の使用はさけてください。
●施設栽培のいちごには使用しないでください。
●牧草地に散布した場合は、散布直後の放牧はさけてください。
●イネシンガレセンチュウの本田における防除に使用する場合、散布適期は出穂の頃であるので時期を失しないように散布してください。なお、効果を高めるためには出穂始めとその1週間後の2回散布をおすすめします。
●本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
●稲（箱育苗）のイネシンガレセンチュウに使用する場合は、下記の事項に注意してください。
　〇発芽期～緑化期の使用は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
　〇軟弱徒長苗、ムレ苗などの場合は薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
　○土壌が極端に湿潤な場合は使用しないでください。
●本剤を本田の水稲に対して希釈倍数300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
●かきのミノガ類に使用する場合、幼虫が大きくなると効果が劣るので若令幼虫期に時期を失しないように散布してください。
●本剤を希釈倍数250倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の地上液剤散布装置を利用してください。

●ひのきに対しては個体によって落葉枯損にいたるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布してください。
●ほうれんそうに使用する場合、幼苗期には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
●果樹のカメムシ類に対しては発生に応じて、所定使用回数以内で繰り返し散布してください。
●本剤を空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ってください。
○散布薬液の飛散によって他の動植物（特にあぶらな科作物、桑、さといも、ソルゴ等の農産物、養蚕、養蜂）に影響を与えないよう散布区域の選定に注意してください。
○水源池、飲料用水、養魚池、養魚田等に本剤が飛散流入しないように十分注意してください。
●本剤を空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合はさらに次の注意を守ってください。
○散布は各散布機種の散布基準に従って実施してください。
○少量散布（8倍液）の散布には、微量散布装置以外の散布器具は使用しないでください。
○無人航空機による散布にあっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
○本剤を空中散布及び無人航空機による散布で、さとうきびのカンシャコバネナガカメムシに使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
○散布中、薬液の漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行なってください。
○特定の農薬（混用可能が確認されているもの）を除いて原則として他の農薬との混用は行わないでください。
○散布終了後は次の項目を守ってください。
・使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
・機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
・顔、手足等皮膚の露出部を石鹸でよく洗い、うがいをしてください。
●かんきつのミカンツボミタマバエ防除に使用する場合は、成虫の発生初期に樹冠部及び主幹部を中心とした樹の内部、樹冠下の地表面に散布するのが効果的です。
●芝のコガネムシ類幼虫に使用する場合は、散布液が土壌中に十分しみ込むようジョロ等で1㎡当り3ℓを散布してください。
●水稲種子の吹付け処理の場合は専用の種子消毒機を使用し、乾燥種籾に均一に付着するよう所定薬液を吹きつけて乾燥してください。なお、処理後長期間保存する場合には薬液処理を行ったことを明記し、まちがいのないようにしてください。
●まめ科牧草のアルファルファゾウムシに使用する場合は、幼虫発生期～成虫発生初期に散布してください。なお、防除適期等については病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
●フラーバラゾウムシに使用する場合は、植物防疫所、病害虫防除所等関係機関の指導のもとに実施してください。
●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
○ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
○受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
○関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分に確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

●誤飲などのないよう注意してください。
●解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤が有効であると報告されています。
●眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
●皮ふに対して刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
●散布の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
●作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
●かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
●街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
●危険物第四類第二石油類に属するので火気には十分注意してください。

水産動植物に係る注意事項

●水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。本剤を使用した苗は養魚田に移植しないでください。
●水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
●空中散布または無人航空機による散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意してください。
●散布後は水管理に注意してください。
●使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
●浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

●火気をさけ、直射日光が当らない低温な場所に密栓して保管してください。